



◆◆◆ 北海道議会第4回定例会 ◆◆◆

北海道議会は11月26日～12月12日の間、本年度第4回定例道議会を開催し、総額43.4億円余を追加する補正予算等の審議等を行いました。また、「カスタマーハラスメント防止条例」や、法定外目的税「宿泊税」についての議論を行った他、国の交付金を活用したコロナ対策補助金事業での道の手続きミスにより国に総額16.2億円の返済が発生した責任を取るとして知事から給与の15%3カ月分(62.1万円)を減額する考えが示され可決されました。



11月26日 カスハラ条例を制定

顧客等からの行き過ぎた要求や言動等により、従業者等の人格や尊厳を傷つけられ、心身に重大な影響を与えるカスタマーハラスメント(以下、カスハラ)が社会問題となっています。道民一人ひとりがカスハラの加害者とならないよう、カスハラに関する理解を深め、防止に努めるため、条例を制定しました。

【想定するカスハラ該当事案の一部】

- 暴行、強要、脅迫、盗撮等の身体的な攻撃
- 大声、暴言、罵倒、侮辱等の精神的な攻撃
- 威圧的言動、執拗な言動、土下座の要求
- 外見、学歴等を批判する差別的な言動

【道営住宅の家賃見直し】

道営住宅では、建物の立地やエレベーターやオイルサーバー等の設備水準により入居の申込みの偏りや、長期空き家が課題となっていたことから、団地の利便性を反映した家賃となるよう見直しを行うこととしました。

家賃見直しに向けては、入居者への丁寧な説明と理解・納得が何より必要です。

宿泊税をめぐる… 宿泊税

知事は、12月10日の予算委員会において、これまで懸案事項であった、道と倶知安町の税収方法の違いについて「倶知安町を免税とし、町が道税相当額を道に交付することで最終合意に至った」と発言しました。

しかし、条例案可決を急ぐあまり、「税の公平性」を担保できているとは言いがたく、全道179市町村が対象の道税に対し、倶知安町のみ課税免除としたことは「不公平」との見方があり、議論の不十分さがぬぐえません。

さらに、今回の条例案変更は「税率」という条例の根幹に対する変更であること、他市町村への影響について十分な説明や審議の時間が必要であること、道議会への説明が不十分であったことから、我が会派(民主・道民連合)は「北海道宿泊条例案については撤回し、修正の上、再提出を求める動議」を提出しました。(⇒少数否決)

税の導入にあたっては、より多くの方々の「理解と納得」が何より重要です。引き続き、議会議論を深めていきます。

KIBA 教育課題について KIBA

いじめ・不登校・こどもの自殺増対策について

現状2023年度の道内におけるいじめ認知件数は22年度の3.3万件から4.8万件と大幅に増加、不登校と判断された小中学生は全国で34.6万人、道内は約2千人増の1.4万人と、いずれも過去最多を更新しました。特に中学校では、生徒千人当たりの不登校者数は全国67.1人に対し、本道は82.1人と大きく上回っています。小中高生の自殺についても、22年514人、23年513人と高止まりです。

質問

幼稚園や保育園では子どもたちにトラブル等が起きることを前提に、複数の職員を配置。全体指導を行う教員と、集団になじめない子への個別指導を行う教職員が一つの学級にすることで、子どもの不安に迅速かつ組織的に寄り添うことができている。あるデータでは、小学校に入学直後からいじめが始まることはまず無く、学校生活が進むにつれ、軽いいじめがエスカレートし、集団での重大事案に発展するケースが数多く見られます。いじめ・不登校対策として、**道独自に小学校1年生から段階的に複数教員配置を行うことを提案します。**

答弁

児童生徒支援加配など、教員定数配置拡充について、国に対し強く要請してまいります。

私の考え

国に求めるだけでなく、これまでに得られた知見に基づき**道独自の取組を行う等の本気の取組が求められています。**



KIBA Jun' photo

木葉 淳(きば じゅん)

54歳

- 出身 函館市 住まい 江別市大麻新町
- 職歴 北海道教育大学卒業後 江別第二小学校や対雁小学校等 小学校教員として25年勤務
- 所属 農政委員会、人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会
- 趣味 ファイターズの応援
- メール kibajun0814@gmail.com まで

『語り合おうかい』お越しください!!

【とき】2月9日(日)10:00~11:00

【ところ】木葉淳道政事務所 江別市野幌町79-7

【テーマ】除排雪等

【その他】参加費無料・事前申し込み不要
江別市議会議員も参加予定です

